

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称	
事業名	517	保健事業(市単事業)	会計	01	一般会計
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	款	04	衛生費
担当部課名	伊賀支所健康福祉課		項	01	保健衛生費
作成者氏名	福永保	連絡先	目	01	保健衛生総務費
		45-9105	細目	102	保健事業
			細々目	06	保健事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
◎検診事業:他で検診を受ける機会のない方 胃がん・大腸がん・肺がん検診(20歳以上) 子宮がん検診(20歳以上の女性) 乳がん検診(30歳以上の女性) 前立腺がん検診(50歳以上の男性) 若年者健診(20歳~39歳の方) ◎嘱託栄養士の雇用:市民		◎検診事業:検診を受診することで、疾病の早期発見・治療ができます。 ◎嘱託栄養士の雇用:栄養指導が充実し、市民の豊かな食生活が実現する。			
◎検診事業【個人負担金】全がん検診とも70歳以上の方、老人保健医療対象者、生活保護家庭の方は無料 【検診方法】〈胃がん検診〉検診バスによる胃透視検査、年3回実施(伊賀支所)、自己負担額1,000円 〈大腸がん検診〉便潜血検査、年3回実施(伊賀支所)、自己負担額300円 〈乳がん検診〉検診バスによるマンモグラフィー検査、年3回実施(伊賀支所)、自己負担額1,100円 〈前立腺ガン検診〉血中PSA検査、年1回実施(伊賀支所)、自己負担額400円 〈肺がん検診〉検診バスによる胸部X線検査及び喀痰検査(希望者)、年6日実施(伊賀支所)、自己負担額600円 〈子宮がん検診〉①検診バスによる頸部細胞診、年2回実施、自己負担額1,100円 ②医療機関個別受診、頸部及び体部細胞診、9月~11月実施、自己負担額2,100円(頸部検査)、2,900円(頸部及び体部検査) 〈若年者健康診査〉集団健診、年1回実施(伊賀支所)、自己負担額1,400円 ◎嘱託栄養士の雇用:妊婦の方から高齢者の方まで、幅広い年齢層の方に対して、栄養の側面から相談や教育を行いました。					
開始年度	昭和 58 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.03	0.03	0.03
人件費合計(A)	216	216	216
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,096	2,077	2,077
報酬	1,859	1,859	1,859
共済費	227	205	205
消耗品費	10	9	9
旅費	0	4	4
合計(A+B)	2,312	2,293	2,293
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担	626	687	687
その他特財			
一般財源	1,686	1,606	1,606
上記①~③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
胃がん検診受診者数(伊賀支所)	人	180	180	200			
乳がん検診受診者数(伊賀支所)	人	210	215	230			
大腸がん検診受診者数(伊賀支所)	人	235	240	240			
肺がん検診受診者数(伊賀支所)	人	1791	1800	1800			
若年者健康診査受診者数(伊賀支所)	人	64	70	70			
嘱託栄養士の雇用	人	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
胃がん検診受診率(市全体)	検診対象人口に係数をかけたもの(職場等で検診の機会がある人を除くため)を分母とし、受診者数を分子としてその率を指標としました。	%	3.0 目標 (4)	4.0	5.0
乳がん検診受診率(市全体)	検診対象人口に係数をかけたもの(職場等で検診の機会がある人を除くため)を分母とし、受診者数を分子としてその率を指標としました。	%	12.1 目標 (12)	13.0	15.0

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昭和58年の老人保健法の施行時より、ガン検診の種類が増えたとともに、その方法もより精度の高いものへと改善がなされています。市町村合併により、若年者健康診査が全市的に行われるようになり、それまで40歳以上でしか受診が出来なかった総合健診が40歳未満の主婦等で、健診を受ける機会がなかった方にも健診を受けていただけるようになりました。伊賀市ではガン検診の受診率が全体的に高いレベルではないため(三重県平均では、胃がん検診9.6%、乳がん検診8.1%)、周知の方法や検診の必要性についての啓発活動が更に必要であると考えています。

評価	必要性	4	ガンの早期発見、治療のためには、定期的な検診の受診が必要であり、また有効であることが実証されています。しかし伊賀市の各ガン検診の受診率をみますと、県下でも決して高いレベルではなく、更なる啓発が必要です。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	4		